

7 経営成績について（税抜き）

当年度の経営成績は、次のとおりである。

(1) 下水道事業の損益の状況

（単位：円、％）

科 目		24年度 (A)	23年度 (B)	比較増減 (A) - (B)	増減率
					$\frac{(A)-(B)}{(B)} \times 100$
営業 収益	下水道使用料	315,807,184			
	他会計負担金	281,595,000			
	その他の営業収益	342,525			
	計	597,744,709			
営業 費用	管渠費	55,834,727			
	ポンプ場費	26,087,986			
	処理場費	150,694,682			
	普及指導費	1,536,314			
	業務費	29,357,143			
	総係費	33,399,839			
	減価償却費	329,931,709			
	資産減耗費	12,694,749			
計	639,537,149				
営業損益		-41,792,440			
営業外 収益	受取利息	2,367			
	他会計補助金	305,047,220			
	雑収益	15,520,997			
	計	320,570,584			
営業外 費用	支払利息	207,083,766			
	雑支出	6,432,072			
	計	213,515,838			
営業外損益		107,054,746			
経常損益		65,262,306			
特別損失		-7,202			
純利益		65,255,104			

※ 企業会計による経理が平成24年度からであるため、平成24年度のみ記載としている。

下水道事業の営業損益は41,792,440円の損失で、営業外損益は107,054,746円の利益を計上している。これにより、特別損失7,202円を差し引いた当年度純利益は65,255,104円となった。

① 営業収益

営業収益の決算額は597,744,709円で、その内容は、下水道使用料315,807,184円のほか、雨水処理に伴う一般会計からの負担金281,595,000円、その他営業収益342,525円である。

② 営業費用

営業費用の決算額は639,537,149円で、主な内容は、人件費（給料・手当等・法定福利費）34,129,263円、修繕費33,232,400円、委託料194,292,388円、減価償却費329,931,709円などである。

③営業外収益

営業外収益の決算額は320,570,584円で、主な内容は、一般会計からの補助金305,047,220円、消費税等還付金（平成23年度分）等の雑収益15,520,997円などである。

④営業外費用

営業外費用の決算額は213,515,838円で、主な内容は、企業債等の支払利息207,083,766円などである。

⑤特別損失

特別損失は、過年度損益修正損の7,202円で、過年度分の過誤納下水道使用料に対する還付金である。

(2) 損益関係指標

平成24年度の営業収支比率は93.5%で、100%を下回っている。これは、維持管理費や減価償却費等の営業費用を、下水道使用料等の営業収益で賄えていないことを示している。

一方、営業外収支を含めた経常収支比率は107.7%で、100%を上回り経常利益があることを示している。これらのことから、下水道事業の経常利益は、営業外収益によって生み出されていると言える。

◇営業収支比率

営業収支比率は、営業費用が営業収益によってどの程度賄われているかを示すもので、100%で収支均衡となるが、100%を大幅に超える必要があると言われている。

◇経常収支比率

経常収支比率は、経常費用（営業費用＋営業外費用）が経常収益（営業収益＋営業外収益）によってどの程度賄われているかを示すもので、100%以上であるときは経常利益が発生していることを示す。